４月１１日　　**テーマ：アブラハムの出発**

聖書箇所：創世記１２章１節～４節

◆今日のみことば

“【主】はアブラムに仰せられた。「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。”創世記１２章１節

◆メッセージ

今、あなたは何才ですか。アブハラムさん（ここではアブラム、ですがのちにアブラハムと名前を変えました。）は、７５才でした。カルデヤのウルから引っ越したカランの地ですっかり落ち着いて、サラさん（ここではサライ、ですがのちにサラと名前を変えました。）と結婚していました。お父さんや兄弟たちも一緒です。そんな時に、神さまから語りかけがありました。「ここを出て行きなさい。」知っている人々に囲まれ、守られ、安心して生活している所を離れるのは、不安でしょう。知らないところに行くと、どんな人たちがいるのか、どんな生活が待っているのか、心配になります。だから、今のままがいいという気持ち。でも、慣れているところだと人の思いが気になって周りに合わせたり、このくらい自分の力でできると思ってしまいます。新しいこと、新しいところだからこそ、神さまだけに頼り、神さまが守ってくださる体験ができます。

そして、神さまが語られたことは「行きなさい。」という命令だけではありません。約束があります。約束は、アブラハムさんを良い地に導き、アブラハムさんを通して神さまに従う国民が生まれる、というものでした。

アブラハムさんは、出発しました。神さまの約束を信じて出発しました。

ここから、イスラエルの歴史が始まります。神さまは、約束してくださった通り、アブラハムさんをイスラエルの先祖としてくださいました。神さまの約束を信じて従う私たちの「信仰の父」としてくださいました。人は、お父さん、お母さんや親しい人に頼り、甘えやすいのですが、私たちを造られた神さまは、見えないところから私たちをじっと見守ってくださり、「わたしに頼って生きてごらん。」とおっしゃっているのです。

◆お祈り

「神さま、今日も、すべてを見守ってくださる神さまにしっかり頼ることができますように。」

（青森シオンキリスト教会牧師　鯉渕千者也）